

令和8年度 高等部 3年（I課程） 日本史探究 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
105	第一学習社 高等学校 日本史探究	日本史探究担当者1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力)我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (学・人)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	<p>(知及技)原始社会の特色を理解する。また原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解できる。 (思判表力)狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。また小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 (学・人)原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。また諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知及技)原始社会の特色を理解する。また原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 (思判表力)狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。また小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 (学・人)原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。また諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	第1章 原始・古代の日本と東アジア 第1節 日本文化の黎明 第2節 ヤマト政権と律令国家の形成	原始社会の特色、狩猟から濃厚社会への変化等について理解する。 ・発問 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
	12	<p>(知及技)律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。古代から中世への時代の展開、また武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解することができる。 (思判表力)古代の国家・社会の変容について、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義を考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 (学・人)諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知及技)律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。古代から中世への時代の展開、また武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 (思判表力)古代の国家・社会の変容について、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義を考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 (学・人)諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	第3節 律令国家の変容 第2章 中世の日本と世界 第1節 中世への転換 第2節 鎌倉幕府の展開	律令体制と古代社会の変容を理解し、また中世の国家や社会の展開について理解する。 ・発問 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
	12	<p>(知及技)地方権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。中世から近世への時代の転換を理解することができる。 (思判表力)中世の国家・社会の変容について、また中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 (学・人)歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知及技)地方権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。中世から近世への時代の転換を理解している。 (思判表力)中世の国家・社会の変容について、また中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 (学・人)歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組んでいる。</p>	第3節 室町幕府の展開 第3章 近世の日本と世界 第1節 近世への転換	中世から近世への時代の転換、国家、社会の変容について理解する。 ・発問 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
2 学期	10	<p>(知及技)幕藩体制の確立の特色を理解する。また近世の社会・文化の特色を理解することができる。 (思判表力)近世の国家・社会の展開について、また近世の国家・社会の展開について、多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 (学・人)諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知及技)幕藩体制の確立の特色を理解する。また近世の社会・文化の特色を理解している。 (思判表力)近世の国家・社会の展開について、また近世の国家・社会の展開について、多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 (学・人)諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	第2節 幕藩体制の確立 第3節 幕藩体制の展開	幕藩体制の特色、展開について理解する。 ・発問 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
	11	<p>(知及技)幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。また近世から近代への時代の転換を理解することができる。 (思判表力)近世の国家・社会の変容について、また近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 (学・人)歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知及技)幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。また近世から近代への時代の転換を理解している。 (思判表力)近世の国家・社会の変容について、また近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 (学・人)歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組んでいる。</p>	第4節 社会の変化と幕府の対応 第4章 近現代の地域・日本と世界 第1節 近代への転換	近世の国家・社会の変容について理解する。 ・発問 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査

	16	<p>(知及技) 日本が立憲体制に移行したことや、明治初期の文化の特色について、また国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、近代の文化や社会の特色について理解することができる。</p> <p>(思判表力) 日本が近代国家へ移行する過程について、近代の政治の展開と国際的地位の確立、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知及技) 日本が立憲体制に移行したことや、明治初期の文化の特色について、また国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容、近代の文化や社会の特色について理解している。</p> <p>(思判表力) 日本が近代国家へ移行する過程について、近代の政治の展開と国際的地位の確立、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	<p>第2節 近代国家の形成</p> <p>第3節 国際関係の推移と近代産業の発展</p>	<p>明治初期の特色、アジアや欧米諸国との関係、工業化の進展、近代文化の形成等について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発問 ・ 課題提出 ・ 小テスト ・ 定期考査
	15	<p>(知及技) 国際社会との関係の変容や、産業の発展の影響や大衆社会・文化の形成、また第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解することができる。</p> <p>(思判表力) 政党政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、また第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知及技) 国際社会との関係の変容や、産業の発展の影響や大衆社会・文化の形成、また第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。</p> <p>(思判表力) 政党政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、また第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	<p>第4節 第一次世界大戦と日本</p> <p>第5節 軍部の台頭と戦争の長期化</p>	<p>第一次世界大戦、第二次世界大戦に関する政治、社会、国民生活の変容を理解する。また平和な社会の実現には何が求められているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発問 ・ 課題提出 ・ 小テスト ・ 定期考査
3 学期	7	<p>(知及技) 我が国の再出発及び国民生活の変容、また政治・経済や対外関係、国民生活の変容を理解することができる。</p> <p>(思判表力) 戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開について、また日本経済の発展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知及技) 我が国の再出発及び国民生活の変容、また政治・経済や対外関係、国民生活の変容を理解している。</p> <p>(思判表力) 戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開について、また日本経済の発展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	<p>第6節 日本の再建</p> <p>第7節 経済の発展</p>	<p>社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展等について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発問 ・ 課題提出 ・ 小テスト ・ 定期考査
	9	<p>(知及技) 社会・経済・情報の国際化などを基に、1970年代以降の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容、また歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解することができる。</p> <p>(思判表力) 国際社会における我が国の役割について、また現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現することができる。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し、現代の日本の課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知及技) 社会・経済・情報の国際化などを基に、1970年代以降の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容、また歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を理解している。</p> <p>(思判表力) 国際社会における我が国の役割について、また現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現している。</p> <p>(学・人) 諸資料を活用し、現代の日本の課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。</p>	<p>第8節 経済大国とグローバル化</p> <p>第5章 現代の日本の課題の探究</p>	<p>現代の日本の課題を理解し、国際社会における我が国の役割について理解する。また、すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて何が必要か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発問 ・ 課題提出 ・ 小テスト ・ 定期考査
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 高等部 3年（I 課程） 数学基礎セミナー 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書/副教材等	担当者名
70	なし	数学担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力)数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (学・人)数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技) 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解できる。 (思判表力)パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 (学・人)問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりすることができる。	(知・技) 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表)パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 (主学)問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	数学で遊ぶ ・数字当てマジック ・論理クイズ ・ハノイの塔 ・和算（塵劫記）	・数字マジックについての仕組みを考察する。 ・タネを理解し、数字マジックを披露する。 ・論理クイズについて調べる。 ・ハノイの塔の問題を解くことで、規則性を考えることのよさを知る。 ・学習課題集の問題を解く。
	4	(知及技) 数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解することができる。 (思判表力)数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。 (学・人)人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようすることができる。	(知・技) 数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。 (思・判・表)数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察しようとしている。 (主学)人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	数学と人間の活動 ・数の表し方の仕組み ・2進数	・古代の人々の記数法や漢数字による記数法について調べる。 ・10進法、2進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つける。 ・学習課題集の問題を解く。
	8	(知及技) 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 (思判表力)指数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 (学・人)事象を指数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようすることができる。	(知・技) 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 (思・判・表)指数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 (主学)事象を指数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	指数関数 ・指数法則 ・累乗根 ・指数の拡張 ・指数関数とグラフ	・指数が0や負の整数の場合について考察する。 ・基本的な累乗根の計算に取り組む。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について調べる。 ・学習課題集の問題を解く。
2 学期	8	(知及技) 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 (思判表力)事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 (学・人)問題解決に数列の考えを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようすることができる。	(知・技) 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 (思・判・表)事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 (主学)問題解決に数列の考えを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	数列 ・等差 ・等比 ・和の記号	・数列の基本的な用語の意味を理解する。 ・等差数列、等比数列について理解する。 ・一般項や和を求める。 ・Σについて理解し、数列の和を求めることができる。 ・学習課題集の問題を解く。
	6	(知及技) いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解できる。 (思判表力)事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。 (学・人)事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断できる。	(知・技) いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 (思・判・表)事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。 (主学)事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	数列 ・階差数列 ・いろいろな数列	・階差数列について理解する。 ・数列の和と一般項の関係について理解し、一般項を求める。 ・いろいろな数列の和や、群数列について考察する。 ・学習課題集の問題を解く。
	16	(知及技) 漸化式、帰納法について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 (思判表力)自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 (学・人)問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようすることができる。	(知・技) 漸化式、帰納法について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 (思・判・表)自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 (主学)問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	数列 ・漸化式 ・帰納法 ・17段目の不思議 ・複利法とローン	・漸化式について理解し、さまざまな事象の考察に応用する。 ・数学的帰納法について理解し、数学的帰納法を用いてさまざまな命題を証明する。 ・フィボナッチ数列について理解し、自分なりのパターンを実験、考察する。 ・数列を日常の事象の問題解決に活用する。
3	10	(知及技) 和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解し、それらを用いて場合の数を求めることができる。 (思判表力)身近な例に対して積の法則を適用することを通して、順列の総数を求める式を考察することができる。 (学・人)問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようすることができる。	(知・技) 和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解し、それらを用いて場合の数を求めることができる。 (思・判・表)身近な例に対して積の法則を適用することを通して、順列の総数を求める式を考察することができる。 (主学)問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	場合の数 ・集合 ・和積の法則 ・順列 ・組み合わせ	・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表す。 ・和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解する。 ・順列、組み合わせの意味を理解し、その総数を求める。

<p>学期</p> <p>10</p>	<p>(知及技)確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 (思判表力)確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 (学・人)事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとするができる。</p>	<p>(知・技) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 (思・判・表)確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 (主学)事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p>	<p>確率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象と確率 ・確率の計算 ・余事象 ・条件付きの確率 ・期待値 	<ul style="list-style-type: none"> ・試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、基本的な確率を求める。 ・確率の加法定理を理解し、排反事象の確率を求める。 ・余事象、条件付きの確率、期待値を求める。 ・学習課題集の問題を解く。
<p>留意点 引継ぎ等</p>				

令和8年度 高等部 3年（I 課程） 体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
105		谷畑学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 運動の特性・多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			
------	---	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	9	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力の維持・向上のために計画を立て実生活に役立てることができる。 (思判表力) 自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする事健康・安全を確保できる。	(知・技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力の維持・向上のために計画を立て実生活に役立てている。 (思・判・表) 自己や仲間の課題を発見し、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (主学) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする事健康・安全を確保できている。	体づくり運動	【学習内容】 ・10分間走、 ・ストレッチや体操 ・課題トレーニング ・用具を用いた運動 ・リズムにのって行う運動 ・サーキット
	12	(知及技) 短距離走・リレーの記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己に適した中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。 (思判表力) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができる。	(知・技) 短距離走・リレーの記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己に適した中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができている。 (思・判・表) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 (主学) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保できている。	陸上競技	【学習内容】 ・短距離走 ・リレー
	12	(知及技) 深く、進む、呼吸をする等の基本的な技能や、複数の泳法及び自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。また安全確保につながる運動の習得や技術の名称や行い方、体力の高め方、解決の方法を理解することができる。 (思判表力) 自己の課題を発見し合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 水泳に自主的に取り組むとともにルールやマナーを大切にしようとする事事故防止に関する心得を遵守する事ができる。	(知・技) 深く、進む、呼吸をする等の基本的な技能や、複数の泳法及び自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。また安全確保につながる運動の習得や技術の名称や行い方、体力の高め方、解決の方法を理解することができる。 (思・判・表) 自己の課題を発見し合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (主学) 水泳に自主的に取り組むとともにルールやマナーを大切にしようとする事事故防止に関する心得を遵守する事ができている。	水泳	【学習内容】 水に慣れ親しみ、水中運動ができ、自己に応じた泳法や課題に挑戦すること。 ・浮く ・進む→歩行、プル、キック ・呼吸、息継ぎ（顔つけ） ・泳法の習得 （長く泳ぐ、速く泳ぐ）
2 学期	16	(知及技) 多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開する事ができる。 (思判表力) 効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。 (学・人) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること 互いに助け合い高め合うことができる。	(知・技) 多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開する事ができる。 (思・判・表) 効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。 (主学) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること 互いに助け合い高め合うことができている。	ポッチャ型(コントロールドアタック) (モルック)	【学習内容】 ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦
	14	(知及技) 安定したボール操作と空間を作りだすなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できる。 (思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	(知・技) 安定したボール操作と空間を作りだすなどの連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できている。 (思・判・表) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができている。 (主学) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保できている。	車イスサッカー (PK) 車椅子バスケット (フリースロー)	【学習内容】 ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦

	10	<p>(知及技) 多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>(思判表力) 効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること 互いに助け合い高め合うことができる。</p>	<p>(知・技) 多様な楽しさや喜びを味わい技術の名称や行い方などを理解するとともに仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>(思・判・表) 効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えることができる。</p> <p>(主学) 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること 互いに助け合い高め合うことができる。</p>	ボウリング	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦
3 学期	14	<p>(知及技) 役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。技術の名称や戦術、作戦の行い方が分かる。また競技の特性を理解し楽しむことができる。</p> <p>(思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し合理的な解決に向けて工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 球技に自主的に取り組む。フェアプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすることができる。</p>	<p>(知・技) 役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。技術の名称や戦術、作戦の行い方が分かる。また競技の特性を理解し楽しむことができる。</p> <p>(思・判・表) 攻防などの自己やチームの課題を発見し合理的な解決に向けて工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(主学) 球技に自主的に取り組む。フェアプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようすることができる。</p>	球技 バレーボール（風船バレー）	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム練習 ・ゲーム
	18	<p>(知及技) ポジションの役割に応じたボールや用具の安定した操作と仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できる。</p> <p>(思判表力) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	<p>(知・技) ポジションの役割に応じたボールや用具の安定した操作と仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てたりして、相手側のコートに空いた場所をめぐる攻防を展開できる。</p> <p>(思・判・表) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(主学) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	ゴロ卓球	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦
	留意点 引継ぎ等				

令和8年度 高等部3年（I 課程） 情報探究 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70	なし	情報担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) ICTや支援機器を活用しながら、情報の収集・整理・活用に関する基礎的な知識及び技能を身に付け、生活や社会参加に必要な情報活用能力を育成する。 (思判表力) 自分や身近な生活に関わる課題を見だし、集めた情報を基に考え、分かりやすく表現する力を育成する。 (学・人) 主体的に学習に取り組み、他者と協力しながら、責任をもって情報を活用しようとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) ・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解する。 ・問題の明確化における「問題の発見」の把握の方法について理解する。 ・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など、問題の明確化について理解する。 ・検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付ける。 ・表計算ソフトウェアを活用し、伝えたい情報に合った適切なグラフを作成できる技能を身に付ける。 (思判表力) ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考えて表で表現する。 ・適切な情報収集方法を選択し、幅広い観点から情報を収集する。 ・収集した情報を整理し、情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し、考察する。 ・解決案を実施して評価を行い、評価結果をまとめる。 (学・人) ・問題解決のためのグループでの取り組み（ブレインストーミングなどの議論）に、積極的に参画する。 ・関心・意欲をもって、収集した情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組む。 ・問題解決の結果を振り返り、積極的に自己評価や相互評価を行い、改善する。	(知・技) ・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している。 ・問題の明確化における「問題の発見」の把握の方法について理解している。 ・問題の構成要素の把握や制約条件の整理など、問題の明確化について理解している。 ・検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けている。 ・表計算ソフトウェアを活用し、伝えたい情報に合った適切なグラフを作成できる技能を身に付けている。 (思・判・表) ・問題解決の身近な事例に対し、問題の構成要素の把握や制約条件の整理を行い、目標の設定を考えて表で表現することができる。 ・適切な情報収集方法を選択し、幅広い観点から情報を収集できる。 ・収集した情報を整理し、情報を効果的に分析するための適切な資料を作成し、考察することができる。 ・解決案を実施して評価を行い、評価結果をまとめることができる。 (主学) ・問題解決のためのグループでの取り組み（ブレインストーミングなどの議論）に、積極的に参画している。 ・関心・意欲をもって、収集した情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。 ・問題解決の結果を振り返り、積極的に自己評価や相互評価を行い、改善しようとしている。	1 問題解決 1. 問題解決の手順 2. 情報の収集と整理 3. 情報の分析	・問題解決の意味を理解し、問題解決の流れについて学ぶ。 ・具体的な例を元に、問題の明確化（問題の構成要素の把握、制約条件の整理など）について学ぶ。 ・情報収集のための手法（ブレインストーミング、検索エンジンの利用、フィードバック）について学ぶ。 ・収集した情報を整理する方法（KJ法やコンセプトマップなど）について学ぶ。 ・表計算ソフトウェアなどによるデータの数値化などの方法について学ぶ。 ・数値化した情報を視覚的に表現する方法について学ぶ。 ・情報を効果的に分析し、まとめる方法について学ぶ。
2 学期	32	(知及技) ・コミュニケーションにおける、発信者と受信者の人数、位置関係、同期性による分類を理解する。 ・技術の進展によるコミュニケーションの手段の変化について理解する。 ・インターネットを利用したさまざまなコミュニケーションの特徴について理解する。 (思判表力) ・電子メールやSNSなどについて、内容や特徴を説明する。 ・コミュニケーションの形態や特性を考え、コミュニケーションの目的に沿った方法を適切に選択する。 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明する。 (学・人) ・インターネット上のコミュニケーションに対し、コミュニケーション手段の特性を考え、トラブルが起こらないような態度で取り組む。 ・インターネット上のコミュニケーションにおいて、自からの行動を振り返り、改善する。	(知・技) ・コミュニケーションにおける、発信者と受信者の人数、位置関係、同期性による分類を理解している。 ・技術の進展によるコミュニケーションの手段の変化について理解している。 ・インターネットを利用したさまざまなコミュニケーションの特徴について理解している。 (思・判・表) ・電子メールやSNSなどについて、内容や特徴を説明することができる。 ・コミュニケーションの形態や特性を考え、コミュニケーションの目的に沿った方法を適切に選択することができる。 ・インターネットを利用したコミュニケーションについて、対面の場合と比較し、気を付けるべき点について説明することができる。 (主学) ・インターネット上のコミュニケーションに対し、コミュニケーション手段の特性を考え、トラブルが起こらないような態度で取り組んでいる。 ・インターネット上のコミュニケーションにおいて、自からの行動を振り返り、改善しようとしている。	2 コミュニケーション 1. 効果的なコミュニケーション 2. インターネット上のコミュニケーション	・コミュニケーションの定義、手段、形態について学ぶ。 ・コミュニケーションの歴史について学ぶ。 ・インターネット上のコミュニケーションの種類と特徴について学ぶ。 ・インターネット上のコミュニケーションのメリットとデメリット（即時性、利便性、保存性、匿名）について学ぶ。

<p>3 学 期</p>	<p>14</p>	<p>(知及技) ・スライド作成のためのコンテンツの設計の手順を理解する。 ・プレゼンテーションソフトウェアを用いて、見やすいスライドの資料作成の技能を身に付ける。 ・論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解する。 ・文書作成ソフトウェアを用いて、わかりやすい資料作成の技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) ・伝えたい内容が同じでも、伝える順序によって受け手の印象が変わることを理解し、コンテンツの構成について考察する。 ・見やすい、わかりやすいスライド資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行う。</p> <p>(学・人) ・わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための工夫をし、プレゼンテーションのリハーサルにも粘り強く取り組む。 ・わかりやすい報告書やレポートを作成するため、文書の作成やレイアウトについて自ら工夫をし、粘り強く取り組む。 ・個人やグループで作成したプレゼンテーション資料や報告書に対し、自己評価や相互評価を行い、フィードバックを行って改善する。</p>	<p>(知・技) ・スライド作成のためのコンテンツの設計の手順を理解している。 ・プレゼンテーションソフトウェアを用いて、見やすいスライドの資料作成の技能を身に付けている。 ・論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解している。 ・文書作成ソフトウェアを用いて、わかりやすい資料作成の技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) ・伝えたい内容が同じでも、伝える順序によって受け手の印象が変わることを理解し、コンテンツの構成について考察することができる。 ・見やすい、わかりやすいスライド資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。</p> <p>(主学) ・わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための工夫をし、プレゼンテーションのリハーサルにも粘り強く取り組んでいる。 ・わかりやすい報告書やレポートを作成するため、文書の作成やレイアウトについて自ら工夫をし、粘り強く取り組んでいる。 ・個人やグループで作成したプレゼンテーション資料や報告書に対し、自己評価や相互評価を行い、フィードバックを行って改善しようとしている。</p>	<p>3 コンテンツの制作 1. コンテンツ設計 2. スライドの制作と発表</p>	<p>・プレゼンテーションにおけるコンテンツの作成について学ぶ。 ・コンテンツの論理展開の方法について学ぶ。 ・スライド制作と見やすくするための工夫について学ぶ。 ・発表の方法と、評価方法について学ぶ。</p>
<p>留意点 引継ぎ等</p>					

令和8年度 高等部 3年（I課程 特別活動） 年間指導計画

単位数 / 配当時数	教科書／副教材等	担当者名
35	なし	特活担当：1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合っ解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解することができる。 (思判表力)ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践することができる。 (学・人)ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ることができる。	(知・技)ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合っ解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。 (思・判・表)ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践している。 (主学)ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	・キャリアパスポート ・児童生徒委員会 ・個人目標、学級目標の設定 ・児童生徒総会 ・冲国大生との交流 ・安全学習 ・前期就業・生活体験の事前・事後学習 ・平和学習 ・運動公園散策 ・体育館で野球 ・夏休みの過ごし方	・年間の目標を立てよう ・生活委員会の活動に参加する。 ・今年度の目標を立てる。 ・児童生徒会の一員としてできることに取り組む。 ・交流の自己紹介や合合わせクイズを考える。 ・火災時の避難方法について知る。 ・卒業後を見据えて就業体験に取り組む。 ・夏休みは計画を立てて、様々なことに取り組む。
2 学期	17	(知及技)ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合っ解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解することができる。 (思判表力)ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践することができる。 (学・人)ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ることができる。	(知・技)ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合っ解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。 (思・判・表)ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践している。 (主学)ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	・人権学習 ・運動公園散策 ・体育館で野球 ・対面ゲーム(トランプやボードゲーム等) ・学習発表会の取組 ・キャリアパスポート	きゃ
3 学期	6	(知及技)ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合っ解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解することができる。 (思判表力)ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践することができる。 (学・人)ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ることができる。	(知・技)ホームルームや学校の生活を向上・充実するために諸問題を話し合っ解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解している。 (思・判・表)ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を多角的に見だし、解決するために話し合い、多様な意見を活かして合意形成を図り、協働して実践している。 (主学)ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	・児童生徒委員会 ・児童生徒生徒会役員選挙演説・投票 ・運動公園散策 ・体育館で野球 ・卒業生を送る会 ・キャリアパスポート	・生活委員会の活動に参加する。 ・生徒会役員への立候補について考える。 ・卒業生を送る会の企画を生徒会役員と一緒に考える。 ・キャリアパスポートで1年間を振り返ろう
留意点 引継ぎ等		・地域の他校の生徒と交流する。 ・生徒会役員選挙に参加する。 ・3年生を送る会について考える。 ・儀式的場における礼儀やマナーについて考え、規律ある行動を実践する。 ・R7年度から、「キャリアパスポート」は「特活」での取り組みとなる。			

令和8年度 高等部3年（I課程）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70	なし	総合的な探究の時間：担当1名

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようになる。 (思判表力)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。 (学・人)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	(知及技)総合的な探究の時間の学習内容や身に付けたい力を理解できるようにする。 (思判表力)総合的な探究の時間を通して、どんな自分になりたいかを考えることができるようになる。 (学・人)将来のことや今やらないと後悔しないことを前向きに考えようとする態度を育む。	(知及技)総合的な探究の時間の学習内容や身に付けたい力を理解しようとしている。 (思判表力)総合的な探究の時間を通して、どんな自分になりたいかを考えることができるようにしている。 (学・人)将来のことや今やらないと後悔しないことを前向きに考えようとしている。	オリエンテーション 自然に触れよう 身体を動かすゲームを体験	オリエンテーション ・総合的な探究の時間の意義の確認 ・年間予定の確認 運動公園散策 体育館で野球ゲーム
	3	(知及技)交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解できるようになる。 (思判表力)交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようになる。 (学・人)課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとする態度を育む。	(知及技)交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解しようとしている。 (思判表力)交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようにしようとしている。 (学・人)課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとしている。	交流共同学習（沖縄国際大学） ・交流学習事前学習 ・交流共同学習 ・交流学習事後学習	交流学習 ・交流学習事前学習 ・交流学習の企画を考える ・交流相手を知る ・自ら（本校）を知ってもらう術を考える ・交流学習 ・他者とのコミュニケーション ・交流学習での役割 ・交流学習事後学習 ・交流学習を振り返る ・交流学習からの学びを考える
2 学期	60	(知及技)専門学校進学を目指して、自己理解を深め、進学の実像をつかみながら、望ましい学園生活及び職業観を身に付けることができるようになる。 (思判表力)専門学校に関する様々な情報を収集し、知識を得ることができるようになる。 (学・人)自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとする態度を育む。	(知及技)専門学校進学を目指して、自己理解を深め、学園生活や将来の仕事の実像をつかみながら、望ましい学生観、職業観を身に付けることができるようになる。 (思判表力)進路先に関する様々な情報を収集し、知識を得ることができるようにしている。 (学・人)自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとしている。	進路学習 ・前期就業体験事前学習 ・前期就業体験 ・前期就業体験事後学習 学習成果発表会の取り組み	進路学習 ・前期就業体験事前学習 ・進路先の専門学校の情報を知る ・自らを知る ・目標を考える ・専門学校卒業後の働く意義を考える ・前期就業・生活体験 ・働くことを体験する ・前期就業・生活体験事後学習 ・自らの良さを振り返る ・自らの課題を知る
	3	(知及技)交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解できるようにする。 (思判表力)交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようにする。 (学・人)課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとする態度を育む。	(知及技)交流活動を通して、他者との交流が人間性を豊かにする貴重な時間であることを理解しようとしている。 (思判表力)交流相手について調べ、交流会の計画を立てることができるようにしようとしている。 (学・人)課題解決のプロセスにおいて、互いのよさを認め、協力して取り組もうとしている。	交流学習（中部農林高校） ・交流学習事前学習 ・交流学習 ・交流学習事後学習	交流学習 ・交流学習事前学習 ・交流学習の企画を考える ・交流相手を知る ・自ら（本校）を知ってもらう術を考える ・交流学習 ・他者とのコミュニケーション ・交流学習での役割 ・交流学習事後学習 ・交流学習を振り返る ・交流学習からの学びを考える
3 学期	3	(知及技)他校の高校生との交流を通して、自己と向き合い、自己実現に向けた資質・能力を身に付けることができるようになる。 (思判表力)目標設定・振り返りを繰り返し、自己実現に向けてやるべきことを明確にすることができるようになる。 (学・人)自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとする態度を育む。	(知及技)他校の高校生との交流を通して、自己と向き合い、自己実現に向けた資質・能力を身に付けようとしている。 (思判表力)目標設定・振り返りを繰り返し、自己実現に向けてやるべきことを明確にしようとしている。 (学・人)自分のよさや課題を知り、自己の新たな可能性を見いだそうとしている。	中部農林高校との交流学習 自然に気づこう 身体を動かすゲームを体験	中部農林高校との交流学習 運動公園散策 体育館で野球ゲーム ・年度終わり、3学期振り返り
留意点 引継ぎ等					